



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2018年 2月23日 No.220

# なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

## れきし ふ おか えいげんざんこうえん 歴史に触れられる丘 永源山公園

でまえじゆぎょう おとす しゅうなんしりつあきづきしょうがっこう しゅうなんし ふうしや ゆうめい えいげんざんこうえん  
出前授業で訪れた周南市立秋月小学校のある周南市には、ゆめ風車で有名な永源山公園があります。自然豊かなこの公園に、古墳があるのをご存じですか。風車に向かう途中で永源山北1号古墳石棺、北4号古墳、北3号古墳を見学することができます。北1号古墳の石棺は、昭和29年に粘土採集作業中に発見された箱式石棺です。埋葬されていたのは20代の女性で、副葬品として管玉や刀剣が見つっています。北4号古墳は、18mの円形の塚ですが、埋葬された形跡が認められない珍しい古墳です。北3号古墳は、小型の円墳で内部に箱式石棺がありました。30代の男性が埋葬されており、副葬品として鉄刀や剣、やじりが置かれていました。1500年前の人々にとって、永源山一帯は「先祖の眠る丘」でした。また、園内には幕末に徳山藩が編制し、四境戦争や戊辰戦争に参加した山崎隊を祀る「山崎隊士の墓」があります。

参考文献『新南陽市史』



北1号古墳石棺



北4号古墳



北3号古墳



永源山公園

てらしまちゅうさぶろう 1843~1864 すおうのくにたかみずむらはら げんしゅうなんしおおあざはら う さい よしだ  
寺嶋忠三郎 (1843~1864) は、周防国高水村原 (現周南市大字原) に生まれました。16歳で吉田松陰の松下村塾に入塾しています。兵学を得意とし、詩を作ることが上手だったそうです。松陰が安政の大獄で江戸に送られる際、忠三郎は生家のある高水までついて行き、旧山陽道の呼坂宿 (現周南市大字呼坂) で別れの歌を交換しました。「よそに見て別れゆくだに悲しさを言にも出では思いみだれん」(忠三郎)、「かりそめの今日の別れは幸なりきものをば言はば思ひをぞまさん」(松陰)。どちらも言葉を交わすと別れの悲しみが深まるという意味の歌です。その後、忠三郎は尊皇攘夷運動に関わり、高杉晋作 (参 187号) らと御楯組を結成します。禁門の変に参加して、久坂玄瑞 (参 199号) らと共に戦死しています。

参考文献『明治維新百年と熊毛町』



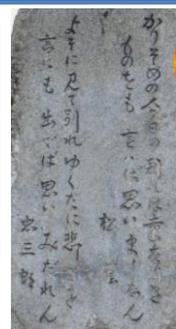
呼坂本陣跡 (周南市指定文化財)



寺嶋忠三郎誕生の地 (周南市指定史跡)



吉田松陰寺嶋忠三郎決別の地 (周南市指定史跡)



山口博物館では、「吉田松陰の手紙」等の幕末維新資料を展示しています。ぜひご覧ください。